

「項目（F）医学・医療と社会」の中（「（1）社会・環境と健康」と「（2）疫学と予防医学」の間）に、下記のとおり、地域医療に関する項目を新設することとする。

改訂案	現行
<p>（項目F）医学・医療と社会</p>	<p>（項目F）医学・医療と社会</p>
<p>（1）社会・環境と健康</p> <p>一般目標： 社会と健康・疾病との関係について理解し、個 体および集団をとりまく環境諸要因の変化によ る個人の健康と社会生活への影響について学ぶ。</p> <p>到達目標： 1）健康、障害と疾病の概念を説明できる。 2）社会構造（家族、コミュニティ、地域社会、 国際化）と健康・疾病との関係を概説できる。</p> <p style="text-align: center;">（削除）</p> <p>3）環境と健康・疾病との関係（環境と適応、 主体環境系、原因と保健行動、環境基準と環 境影響評価、公害と環境保全）を概説できる。</p> <p>4）生態系の変化が健康と生活に与える影響（有 害物質、環境発がん物質、内分泌攪乱物質） を概説できる。</p> <p style="text-align: center;">（削除）</p> <p>△5）病診連携と病病連携を説明できる。 △6）地球環境の変化、生態循環、生物濃縮と 健康との関係を説明できる。 △7）各ライフステージの健康問題について説</p>	<p>（1）社会・環境と健康</p> <p>一般目標： 社会と健康・疾病との関係や<u>地域医療</u>について理 解し、個体および集団をとりまく環境諸要因の変 化による個人の健康と社会生活への影響について 学ぶ。</p> <p>到達目標： 1）健康、障害と疾病の概念を説明できる。 2）社会構造（家族、コミュニティ、地域社会、 国際化）と健康・疾病との関係を概説できる。 3）<u>地域医療の機能と体制（地域保健医療計画、 救急医療、災害医療、へき地医療、在宅ターミ ナル）</u>を説明できる。</p> <p>4）環境と健康・疾病との関係（環境と適応、主 体環境系、原因と保健行動、環境基準と環境影 響評価、公害と環境保全）を概説できる。</p> <p>5）生態系の変化が健康と生活に与える影響（有 害物質、環境発癌物質、内分泌攪乱物質）を概 説できる。</p> <p>△6）<u>地域保健と医師の役割</u>を説明できる。 △7）病診連携と病病連携を説明できる。 △8）地球環境の変化、生態循環、生物濃縮と健 康との関係を説明できる。 △9）各ライフステージの健康問題について説明</p>

<p>明できる。</p> <p>△8) シックハウス症候群を概説できる。</p> <p>(削除)</p>	<p>できる。</p> <p>△10) シックハウス症候群を概説できる。</p> <p>△11) 災害救急医療におけるトリアージを説明できる。</p>
<p>(2) 地域医療</p> <p>一般目標：</p> <p><u>地域医療の在り方と現状および課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を身に付ける。</u></p> <p>到達目標：</p> <p>1) <u>地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。</u></p> <p>2) <u>へき地および離島における地域医療の現状と課題について説明できる。</u></p> <p>3) <u>医師の偏在（地域及び診療科）の現状について説明できる。</u></p> <p>4) <u>地域における、保健（母子保健、老人保健、精神保健、学校保健）・医療・福祉・介護の分野間の連携及び多職種間の連携の必要性について説明できる。</u></p> <p>5) <u>地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身に付ける。</u></p> <p>6) <u>地域における、救急医療、災害医療、在宅ターミナルの体制を説明できる。</u></p> <p>△7) <u>災害救急医療におけるトリアージを説明できる。</u></p> <p>△8) <u>地域医療に積極的に参加・貢献する。</u></p>	<p>(新設)</p>
<p>(3) 疫学と予防</p> <p>(略)</p>	<p>(2) 疫学と予防</p> <p>(略)</p>

<p>(4) 生活習慣と予防医学 (略)</p>	<p>(3) 生活習慣と予防医学 (略)</p>
<p>(5) 保健、医療、福祉と介護の関係 一般目標： 保健、医療、福祉と介護の制度の内容を学ぶ。  到達目標： 1) ～ 3) (略) (削除)  4) 産業保健を概説できる。 5) 医療の質の評価(質の定義、クリティカル・パス)を説明できる。 6) 国民医療費の収支と将来予測を概説できる。 7) 医師法と医療法を概説できる。 8) 医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。 △9) 医療資源と医療サービスの価格形成を説明できる。 △10) 医療従事者の資格免許、現状と役割、連携とチーム医療を説明できる。 △11) 感染症予防医療法・食品衛生法の概要と届け出義務を説明できる。 △12) 予防接種の意義と現状を説明できる。 △13) 医師法と医療法以外の医療関係法規を概説できる。</p>	<p>(4) 保健、医療、福祉と介護の関係 一般目標： 保健、医療、福祉と介護の制度の内容を学ぶ。  到達目標： 1) ～ 3) (略) 4) 地域保健(母子保健、老人保健、精神保健、学校保健)を概説できる。 5) 産業保健を概説できる。 6) 医療の質の評価(質の定義、クリティカル・パス)を説明できる。 7) 国民医療費の収支と将来予測を概説できる。 8) 医師法と医療法を概説できる。 9) 医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。 △10) 医療資源と医療サービスの価格形成を説明できる。 △11) 医療従事者の資格免許、現状と役割、連携とチーム医療を説明できる。 △12) 感染症予防医療法・食品衛生法の概要と届け出義務を説明できる。 △13) 予防接種の意義と現状を説明できる。 △14) 医師法と医療法以外の医療関係法規を概説できる。</p>
<p>(6) 診療情報 (略)</p>	<p>(5) 診療情報 (略)</p>
<p>(7) 臨床研究と医療 (略)</p>	<p>(6) 臨床研究と医療 (略)</p>

「項目(D)全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療」の中(「(1)感染症」と「(2)免疫・アレルギー疾患」)に、下記のとおり、腫瘍に関する項目を新設することとする。

※ 下記の新規項目「腫瘍」の追加により、現在のコア・カリキュラム9～10ページの以下の項目を削除。

「B 医学一般 3 原因と病態 (6)腫瘍」

※ 現在のコア・カリキュラムの「腫瘍」にある7項目(\*)は下記改訂項目へ移動(一部表現修正)。

改訂案	現行
項目 B 医学一般 3 原因と病態	項目 B 医学一般 3 原因と病態
(削除)	<p>(6)腫瘍</p> <p>一般目標: 細胞の増殖・分化の機構とそれらの異常を学び、腫瘍の定義、発生機構と病態を理解する。</p> <p>到達目標: 1)組織の再生と修復や肥大、増生、化生、異形成と退形成を説明できる。*1 2)良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。*2 3)上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍の違いを説明できる。*3 4)腫瘍細胞の異形成と多型性を説明できる。*4 5)局所における腫瘍の増殖、局所浸潤と転移を説明できる。*5 6)腫瘍発生に関わる遺伝的要因と外的因子を説明概説できる。*6 7)癌遺伝子と癌抑制遺伝子を概説できる。*7</p>
項目 D 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療 (1)感染症 (略)	項目 D 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療 (1)感染症 (略)

(2)腫瘍	
一般目標:	(新設)
腫瘍の病理・病態、発生原因・疫学・予防、 症候、診断・治療と診療の基本的事項を学ぶ。	
<b>【病理・病態】</b>	
到達目標:	
1) 腫瘍の定義を説明できる。	
2) 組織の再生と修復や肥大、増生、化生、 異形成と退形成を説明できる。	* 1
3) 良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明でき る。	* 2
4) 上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍の違いを説 明できる。	* 3
5) 腫瘍細胞の異型性と多型性を説明でき る。	* 4
6) 腫瘍と染色体異常の関係を概説できる。	
7) 局所における腫瘍の増殖、局所浸潤と 転移を説明できる。	* 5
<b>【発生原因・疫学・予防】</b>	
到達目標:	
1) 腫瘍発生に関わる遺伝的要因と外的因 子を概説できる。	* 6
2) がんに関連する遺伝子(がん遺伝子とが ん抑制遺伝子)の変化を概説できる。	* 7
3) 悪性腫瘍の疫学を概説できる。	
4) 悪性腫瘍の予防を概説できる。	
<b>【症候】</b>	
(【ショック】【発熱】【けいれん】【意識障害・失	
神】【脱水】【全身倦怠感】【肥満・やせ】【黄疸】	
【発疹】【貧血】【リンパ節腫脹】【浮腫】【胸水】	
【胸痛】【呼吸困難】【咳・痰】【血痰・喀血】【めま	
い】【頭痛】【運動麻痺・筋力低下】【腹痛】【悪	
心・嘔吐】【嚥下困難・障害】【食思(欲)不振】	
【便秘・下痢】【吐血・下血】【腹部膨隆(腹水を	
含む)・腫瘍】【血尿】【尿量・排尿の異常】【月経	
異常】【腰背部痛】はE1 参照)	
<b>【診断】</b>	
到達目標:	
1) 腫瘍の細胞診と組織診の違いを説明で きる。	

<p>2) 腫瘍の画像診断を概説できる。  3) 腫瘍の遺伝子診断を概説できる。  4) 腫瘍マーカーの意義を説明できる。  5) 悪性腫瘍の病期分類を概説できる。  6) 悪性腫瘍の予後因子を概説できる。</p> <p><b>【治療】</b>  到達目標：  1) 腫瘍の集学的治療を概説できる。  2) 腫瘍の手術療法を概説できる。  3) 腫瘍の放射線療法を概説できる。  4) 腫瘍の化学療法を概説できる。  5) 腫瘍の生物学的療法を概説できる。  6) 腫瘍における支持療法を概説できる。  7) 腫瘍における緩和療法を概説できる。</p> <p><b>【診療の基本的事項】</b>  到達目標：  1) 腫瘍の診療におけるチーム医療を概説できる。  2) 腫瘍の診療における生命倫理(バイオエシックス)を概説できる。</p>	
<p>(3) 免疫・アレルギー疾患  (略)</p> <p>(4) 物理・化学的因子による疾患  (略)</p> <p>(5) 成長と発達  (略)</p> <p>(6) 加齢と老化  (略)</p> <p>(7) 人の死  (略)</p> <p>(8) 死と法  (略)</p>	<p>(2) 免疫・アレルギー疾患  (略)</p> <p>(3) 物理・化学的因子による疾患  (略)</p> <p>(4) 成長と発達  (略)</p> <p>(5) 加齢と老化  (略)</p> <p>(6) 人の死  (略)</p> <p>(7) 死と法  (略)</p>

「項目（A）基本事項」について、下記のとおり改訂する。

改訂案	現行
<p>A 基本事項 2 医療における<u>安全確保</u></p>	<p>A 基本事項 2 医療における<u>安全性への配慮と危機管理</u></p>
<p>(1) <u>安全性の確保</u></p> <p>一般目標： <u>医療上の事故等(インシデント(ヒヤリハット)、医療過誤等を含む。)</u>は日常的に起こる可能性があることを認識し、事故を防止して患者の<u>安全確保を最優先することにより、信頼される医療を提供しなければならない</u>ことを理解する。</p>	<p>(1) <u>安全性の確保</u></p> <p>一般目標： <u>医療事故は日常的に起こる可能性がある</u>ことを認識し、事故を防止して安全で信頼される医療を提供しなければならないことを理解する。</p>
<p>到達目標： 1) <u>実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。</u></p>	<p>到達目標： 1) <u>医療事故はどのような状況で起こりやすいかを説明できる。</u></p>
<p>2) <u>医療上の事故等を防止するためには、個人の注意力はもとより、組織的なリスク管理が重要であることを説明できる。</u></p>	<p>2) <u>医療事故を防止するためには、個人の注意力はもとより、組織的なリスク管理の重要性を説明できる。</u></p>
<p>3) <u>医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録改竄の違法性について説明できる。</u></p>	<p>3) <u>事故の可能性を予測し、それが重大事故につながるシステム(フェイル・セーフ・システム)の必要性を説明できる。</u></p>
<p>4) <u>医療の安全性に関する情報(薬害や医療過誤の事例、やってはいけないこと、模範事例等)を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。</u></p>	<p>4) <u>医療の安全性に関する情報(成功事例や失敗事例)を共有し、事後に役立てる必要性を説明できる。</u></p>

<p>5) <u>医療機関における安全管理体制の在り方</u> (事故報告書、インシデント・レポート、リスク管理者、事故防止委員会、事故調査委員会) を概説できる。</p>	<p>5) <u>医療機関における安全管理のあり方</u> (事故報告書、インシデント・レポート、リスク管理者、事故防止委員会、事故調査委員会) を概説できる。</p>
<p>6) <u>医療の安全確保のための、職種・段階に応じた能力の向上を図ることができる。</u></p>	<p>(新設)</p>
<p>(2) <u>医療上の事故等への対処と予防</u></p> <p>一般目標：  <u>医療上の事故等（インシデント（ヒヤリハット）、医療過誤等を含む。）が発生した場合の対処の仕方を学ぶ。</u></p>	<p>(2) <u>危機管理</u></p> <p>一般目標：  <u>医療事故や潜在的医療事故が発生した場合の対処の仕方について学ぶ。</u></p>
<p>到達目標：  1) <u>インシデント（ヒヤリハット）と医療過誤</u> の違いを説明できる。</p>	<p>到達目標：  1) <u>医療事故と潜在的医療事故の違い</u> を説明できる。</p>
<p>2) <u>医療上の事故等（インシデント（ヒヤリハット）、医療過誤）が発生したときの緊急処置や記録、報告について説明し、実践できる。</u></p>	<p>2) <u>医療事故や潜在的医療事故の可能性と緊急処置や報告などの対応について説明し、実施できる。</u></p>
<p>3) <u>医療過誤に関連して医師に課せられた社会的責任と罰則規定（行政処分、民事責任、刑事責任）</u> を説明できる。</p>	<p>3) <u>医療事故に関連した基本的事項（行政処分、民事責任、刑事責任、司法解剖）</u> を説明できる。</p>
<p>4) <u>病理解剖、司法解剖、行政解剖の役割と相違点について概説できる。</u></p>	<p>(新設)</p>
<p>5) <u>基本的予防策（ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセイフ・フールプルーフの考え方など）</u> について概説し、実践できる。</p>	<p>(新設)</p>



<p><u>(3) 医療従事者の健康と安全</u></p> <p>一般目標： 医療従事者が遭遇する危険性（感染を含む）について、基本的な予防・対処方法を学ぶ。</p>	<p>(新設)</p>
<p>到達目標： 1) <u>医療従事者の健康管理の重要性を説明できる。</u></p>	<p>(新設)</p>
<p>2) <u>標準予防策 (Standard Precautions) の必要性を説明し、実行できる。</u></p>	<p>(新設)</p>
<p>3) <u>患者隔離の必要な場合について説明できる。</u></p>	<p>(新設)</p>
<p>4) <u>針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。</u></p>	<p>(新設)</p>
<p>3 コミュニケーションとチーム医療 (2) 患者と医師の関係</p> <p>一般目標： 患者と医師の良好な関係を築くために、患者の個別的背景を理解し、問題点を把握する能力を身につける。</p>	<p>3 コミュニケーションとチーム医療 (2) 患者と医師の関係</p> <p>一般目標： 患者と医師の良好な関係を築くために、患者の個別的背景を理解し、問題点を把握する能力を身につける。</p>
<p>到達目標： 1) 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。</p>	<p>到達目標： 1) 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。</p>
<p>2) 患者に分かりやすい言葉で対話できる。</p>	<p>2) 患者に分かりやすい言葉で対話できる。</p>
<p>3) <u>患者の心理的および社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。</u></p>	<p>3) 患者の心理的および社会的背景を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。</p>

4) 医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係にもとづいていることを説明できる。	4) 医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係にもとづいていることを説明できる。
5) 患者の要望（診察・転医・紹介）への対処の仕方を説明できる。	5) 患者の要望（診察・転医・紹介）への対処の仕方を説明できる。
(削除)	6) <u>カウンセリングの重要性を概説できる。</u>
6) <u>患者のプライバシーに配慮できる。</u>	(新設)
7) <u>患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱ができる。</u>	(新設)